

魚病対策調査 - III

魚病診断

魚病の原因、対策、治療については、電話連絡、来場等によって照会がなされ、それは、年間60件近くになる。

対象魚種としては、観賞ゴイを主に、食用ゴイ、ヤマメ、ニジマス等である。

また出現する疾病も、原虫症、真菌症、細菌症および大型寄生虫症等さまざまであり、特に、冷水魚については、細菌症の他に、肉眼観察で、IHNと思われる疾病も出現した。魚病診断状況は表1に示した。

表1 魚病診断の状況

魚種名	病名又は症状	原因	対策	件数
コイ	トリコデイナ症	トリコデイナ	ホルマリン20 ppm浴	7
	エピステイリス症	エピステイリス	マラカイドグリーン0.5 ppm浴	1
	キロドネラ症	キロドネラ	ホルマリン20 ppm浴	6
	白点病	イクチオフトリス	飼育環境の改善	2
	水カビ病	水生菌	マラカイドグリーン浴	4
	鰓ぐされ病	カラムナリス菌	フラン剤投与(薬浴)	10
	赤斑病	エロモナス菌	" (薬浴)	7
	まつかさ病	"	" (")	6
	ダクチロギルス症	ダクチロギルス	ホルマリン250 ppm短時間浴	2
	ギロダクテルス症	ギロダクテルス	ホルマリン15~20 ppm浴	2
	ウオジラミ症	ウオジラミ	トリクロルホン0.2~0.3 ppm浴	3
	イカリムシ症	イカリムシ	"	2
ヤマメ	せつ瘡病	エロモナス菌	サルファ剤投与	1
ニジマス	IHN(?)	ビールス(?)	飼育環境の改善	1